

事業者向け 自己評価表(放課後等デイサービス、児童発達支援)

回収期間2020.3
公表時期2021.4
4名回収(4名配布)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	0	・パーテーションがないため、個々の活動(勉強、遊び等)が持続しづらい環境 ・座席位置や机の配置など工夫して、それぞれが集中できる環境を整えている。 ・衛生管理及び運用について工夫している ・学習スペースと遊びのスペースの仕切りがない。机の場所、座る向きを工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	・全員が児童指導員もしくは有資格者(保育士、教員免許等) ・各々のスキルを活かせる環境づくりを意識している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	0	・エレベーター配置 ・音情報を視覚情報に変換する工夫をもう少し考えていきたい ・視覚化の工夫をさらにしていきたい
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2	0	・毎日、全職員が確認できるアプリ(Google、LINEWORKS等)を使って共有している。 ・広くというところまではなかなか時間的・物理的制約があり、難しいが月一會等の開催で改善していきたい ・情報共有の徹底
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	・1年に一度実施 ・日々の業務報告を通して保護者とのリレーションをより深耕できるようにしている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	・HPに掲載(必要に応じて紙媒体で募集&公開)
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	2	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	・年に4回の職員研修を実施
適切な 支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	・6ヶ月に一度、内容を更新
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	1	2	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	・季節に合わせたプログラム等を立案
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	・オンライン企画等も実施
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	・長期休暇期間は積極的に外出企画なども設けている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	・適宜、利用児や保護者の要望も反映させながら計画を作成(子ども講演会、ろう者経営のお店訪問、保護者リクエストのあった公園等)

の 提 供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	・利用児による学習(活動)課題などを改めて共有し、対応方法を相互間で検討する
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	・日常的な事項はメール、重要事項は直接フィードバックを行う
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	・毎回、記録内容を職員間および保護者へも共有している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	・必ず利用児童との直接的な関わりの中で見えてきた課題、成長点に着目して、職員間で共有して判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	0	0	・年に一度ガイドラインの読み合わせを行う。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2	0	・必要に応じて児童発達支援管理責任者および保育士が同席する。 ・専門教育を受けたスタッフを配置
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	0	0	・職員が直接近隣の学校にうかがい、利用児の担任と顔を合わせている。必要に応じて情報共有をする。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	0	・最初の面談時に情報を記録。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	0	・必要性がないのであまりしていないが、手話環境に関する情報共有(当時、手話は使っていたか等)は適宜している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	1	・これまで実績なし ・対象者がいないため。ただし、対象者がいれば速やかに対応する体制は整えている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	0	・必要に応じて研修や担当者会議に出席している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	0	0	・近隣の学童、公園にて交流機会を設けている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	1	・これまで実績なし
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	・毎回、メールにて情報を記録&共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	0	・児童発達支援の保護者に関しては、保護者学習会を必要に応じて設けている。 ・放デイ保護者に関しては、要望があった場合のみ面談機会を設けている。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	・初回面談時に説明を行なっている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	・必要に応じて直接面談を行なっている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4	0	・2年近く保護者交流の場を設けていない(2021年現在)。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	・メールもしくは直接面談にて原因と改善策を説明している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	・毎回、記録メールを作成し、必要に応じて活動・行事などの情報を発信している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	・書類関連は事業所内相談室の鍵のついたキャビネット内に保管。そのほか廃棄する書類はシュレッダーにて処分している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	・必要に応じて個別対応する場合もある。 ・手話通訳は常時つけるよう配慮 ・手話者による運営
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	1	・巣鴨商店街との交流がまだ図れていないので、交流プログラム計画中。 ・外部団体や法人内別事業部との連携で様々な企画を実施
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	1	・一部完成し、初回面談時に説明している。 ・2021年度中に緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを完成させ、保護者へ周知予定。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	2	0	・1年に2度、利用児とともに避難訓練を実施。 ・避難訓練の回数をもう少し増やしていけたらと思う
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	・外部の虐待防止に関する講演会へ出席。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3	0	・これまで身体拘束の実施なし。 ・対象者がいないため。ただし座学だけはキチンと学んで知識は蓄えておくようにしていく
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	0	・必要に応じて保護者へ提出を求めている。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	・これまでのケースを写真付きで資料を作成し共有。